



1. 商工業 (地域の特性を活かした自立的な産業の育成)

商業は、小規模な商店が経営の主体だったため、大型店、郊外店の出店により経営の体系が大きく変わっています。

●製造業推移 (4人以上の事業所)

年次	事業所数(所)	従業者数(人)	製造品出荷額等(百万円)
平成17年	56	739	6,950
平成18年	51	705	6,377
平成19年	51	703	6,283
平成20年	55	731	6,451
平成21年	48	614	6,149
平成22年	47	616	5,848

各年12月31日現在

工業統計調査

●商業の推移

地区	事業所数(所)			従業員数(人)			年間商品販売額(百万円)		
	14年	16年	19年	14年	16年	19年	14年	16年	19年
福江	640	604	569	2,945	2,762	2,598	59,298	65,941	54,989
富江	125	115	107	365	357	289	4,136	4,094	3,679
玉之浦	42	34	27	72	55	53	480	404	367
三井楽	71	67	52	192	177	153	1,920	1,875	1,659
岐宿	70	59	52	184	160	133	2,038	1,869	1,769
奈留	101	94	88	281	256	244	6,174	2,795	2,599
計	1,049	973	895	4,039	3,767	3,470	74,046	76,978	65,062

商業統計調査

2. 観光 (地域の特性を活かした自立的な産業の育成)

●観光の動き

五島市は、西海国立公園に代表される美しい自然景観と遣唐使、キリシタン、教会などの歴史・文化遺産に恵まれています。

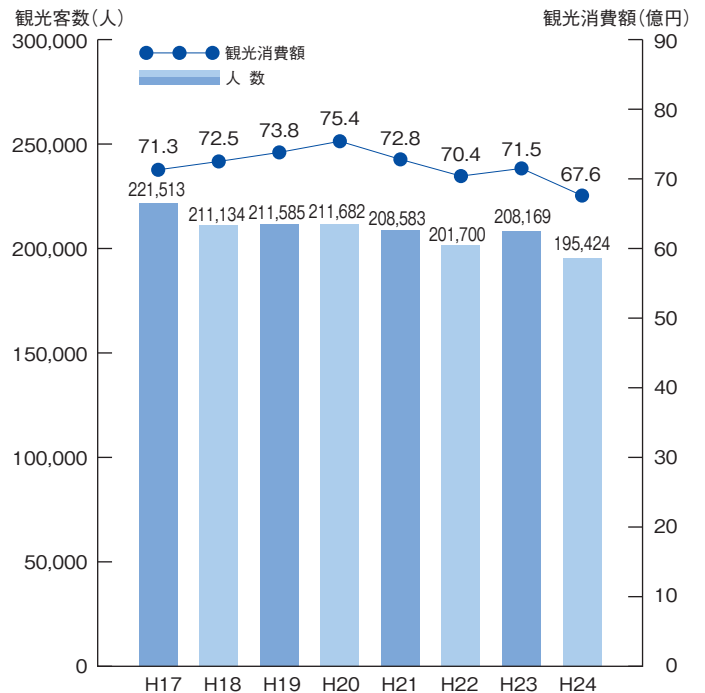
平成24年の市の統計による観光客延べ数及び観光消費額は、それぞれ19万5,424人、約67.6億円と推計しています。

市では、五島長崎トライアスロン大会・五島列島夕やけマラソン・五島椿まつり等の集客イベントや、平成25年4月に販売が始まった特典付き地域通貨「しまとく通貨」を活用した誘客キャンペーンに力を入れるとともに、体験型旅行の造成など、交流人口の拡大及び地域経済の活性化策を展開しています。

平成25年4月から、国際交流員(韓国)を新たに雇用し、韓国における本市の知名度の向上や「長崎の教会群とキリスト教関連遺産」の世界遺産登録を見越した観光客(巡礼)誘致のための取り組みを進めています。また、平成24年に大幅に減少した、修学旅行等教育旅行の誘致については、本市独自の助成制度の周知徹底を図り、誘致の推進に力を入れて取り組んでいます。



●観光客数・観光消費額の推移



平成17年から掲載

観光交流課調